

令和4年9月吉日 所長 海老澤政昭

暦の中のことばに、二十四節気があります。8月から9月にかけては、処暑から白露に向けて時が動いています。暦の上ではしっかりと秋を感じる頃です。送迎車で走っていると、稲が頭を垂れ、黄金色に輝いています。遠くには、もうすでに稲刈りを終え、稲が天日干しされている風景も見えました。秋を感じつつ、稲穂のように熟しても頭を垂れるような謙虚さを忘れずにいたいですね。

さて、いよいよ、夏休みを終え、子どもたちは2学期突入です。まだまだ、コロナ感染が心配ですが、しっかりと感染対策を講じながら、秋を満喫していきたいと考えています。

第三者評価のヒヤリングを受けて、少しずつではありますが、具体的な改善を実施しつつあります。この改善を実施するにあたり、再度、確認したことは『仲間たち、子どもたちが主人公であること』です。支援員及び指導員は、仲間たち、子どもたちとかかわりあいながら、ともに成長、発達していく主体者でもあります。私たちよがりになってはいないか？本当に、仲間たち、子どもたちが望んでいることか？自分たち自身に厳しく立ち向かいながら、見直しを進めているところです。これらの見直しが、本当に仲間たち、子どもたちを主人公としたことに近付いていけばいくほど、家庭において仲間たちや子どもたちの様子が変わるはず。それはほんの少しかもしれません。ただ“あれ、なんか変わったかな？”と感じれば、それは、私たちが変わろうとしている証しに違いありません。

日本の重症心身障害福祉に貢献された岡崎英彦先生（初代びわこ学園園長）が職員に残したことばに『熱願冷諦』（ねつがんれいてい）「熱意をもって真剣に願うことと、冷静になって本質を見極めること」と、『本人さんはどう思てはるんやろ』があります。

道のりは長いです。

## 労働創造委員会主催 3事業一斉草取り

令和4年8月3日（水）午前10時10分より10分間、就労継続支援B型、通所生活介護、放課後等デイサービスによる事業所敷地内の一斉草取りが昨年に続き実施されました。去年は天候が悪く一斉とはいきませんでした。今年は日陰もあり、絶好の草取り日となりました。日頃から、各事業ごと、草取り作業は行っていますが、一斉に協力して行う事で、達成感や充実感も大きかったと思います。企画した労働創造委員会のメンバーも、仲間たちや職員等の生き生きした姿を見ることで、委員会としても大成功と言えるでしょう。



開始の挨拶



B型の様子



生活の様子



放デイの様子

### 【編集後記】

8月の猛暑の中、今年もコロナとの闘いで、少々体力も落ち気味な方も多くおられることでしょう。生活介護では、畑で採れた赤しそを使って、しそジュースを作りました。赤しそに含まれるロスマリン酸は、花粉症などのアレルギー症状を緩和したり、物忘れ対策の予防や抗ウイルス効果、糖尿病の予防効果があると言われていています。試してみてくださいはいかがでしょうか。